継 1～ 多文化共生社会の構築を推進する事業 ～

１．多文化共生社会づくり推進事業

（1）多文化共生のまちづくりサポート事業

① 熊本市外国人総合相談プラザ運営事業（多文化共生オフィス運営事業）

当館 2 階に設置しました「熊本市外国人総合相談プラザ」において、外国人市民からの相談や問い合わせに、多言語相談員や専門相談員と連携を図りながら対応しました。

特に、新型コロナウイルス感染症に関し、症状、特別定額給付金、PCR 検査等について問い合わせが多く寄せられました。

令和２年度の相談件数：3,153 件

▶多言語相談員及び熊本市国際交流員（CIR）対応言語

日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、ベトナム語

▶専門相談員

熊本県弁護士会（法律）、熊本県行政書士会（出入国管理、在留資格）、熊本市居住支援協議会（住まい）、熊本労働局（労働環境）、株式会社マイスティア（おしごと）、NPO 法人外国から来た子ども支援ネット（外国籍児童・生徒の教育相談）

▶３者通訳システム（19 言語）

英語、中国語（北京語）、韓国語、タイ語、ロシア語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、マレー語、タガログ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語

▶ビデオ通訳システム（8 言語）

英語、中国語（北京語）、韓国語、タイ語、ロシア語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語

≪相談内容とスケジュール≫

日本語、英語、フランス語生活相談	常時	10:00～18:00
中国語生活・教育相談	水、金、日曜	13:00～18:00
韓国語生活相談	第３金曜	13:00～17:00
スペイン語相談	第１金曜	13:00～17:00
タガログ語相談	第２水曜	13:00～17:00
ベトナム語相談	第３水、日曜	13:00～17:00
出入国管理在留資格に関する相談	第１水、第３日曜	13:00～16:00
外国人のための無料法律相談	第３土曜（要予約）	14:00～16:00
外国ルーツの子どもに関する教育相談	毎週日曜（要予約）	13:00～15:00
労働相談	第２火曜	13:00～17:00
おしごと相談	第２水曜	10:00～18:00
住まいの相談	第３水曜	13:00～17:00
ドイツ国際交流員相談	毎週水曜	13:00～17:00
韓国国際交流員相談	毎週木曜	13:00～17:00
アメリカ国際交流員相談	毎週金曜	13:00～17:00

● 生活ガイダンス

生活に必要な情報を提供するガイダンスについて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面ではなく YouTube 動画で配信しました。

≪動画制作回数≫ ６回（やさしい日本語・英語）

≪トピック≫　新型コロナウイルス特別給付金申請について
新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）について
幼稚園と保育園の違いについて
災害編① 地震について
災害編② 大雨と台風について
災害編③ 避難所について

● 市政だよりの多言語化・ホームページ掲載事業（英語・中国語・韓国語）

熊本市の広報紙「市政だより」から外国人市民に必要な情報を英語、中国語、韓国語に翻訳し、事業団ホームページに公開しました。各言語への翻訳は、事業団に登録している情報ボランティア（本報 17 ページを参照）を活用し、作業の効率化を図りました。

● あんしん・あんぜん　防災・生活情報ｅメールマガジン（外国人市民向け生活情報）

生活に関する情報を多言語（やさしい日本語、英語、中国語）で配信しました。

毎月 10 日配信

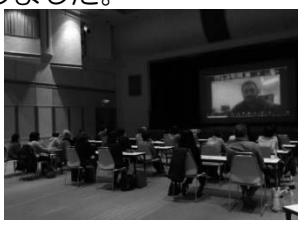
登録者数：385 人　≪内訳≫ やさしい日本語 136 人、英語 185 人、中国語 64 人

② 多文化共生月間事業

毎年２月を多文化共生月間と位置付け、次の事業を開催しました。

● 多文化共生セミナー「やさしい日本語のススメ～英語でなくても～」

地域の共通言語として「やさしい日本語」の活用を考えるセミナーを開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン（Zoom）での開催に変更し、オンライン参加が難しい方には、当館６階ホールで視聴していただく環境を整え開催しました。



日　　時：令和３年２月 27 日（土）16:00～18:00

場　　所：６階ホール、またはオンライン（Zoom）

参 加 費：無料

参加者数：59 人（来場者 20 人、オンライン 39 人）

内　　容：

・熊本市外国人総合相談プラザ活動紹介
　報告者：田辺 寿一郎（同プラザ コーディネーター）

・多文化共生セミナー「やさしい日本語のススメ～英語でなくても～」
　講　師：岩田　一成氏（聖心女子大学　教授）

● 外国人コミュニティ活動紹介（動画）

多文化共生月間中の土曜日に「多文化サタデー」として外国人コミュニティと市民が集い異文化交流する企画を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。代わりに外国人コミュニティの活動等を紹介する動画を作成し YouTube にて配信しました。

・インドネシア人コミュニティの活動紹介
・中国人コミュニティの活動紹介
・ネパール人コミュニティの活動紹介

● 多文化共生パネル展

当館１階エントランスロビーにて、「多文化共生パネル展」を開催しました。

期　間：令和３年２月１日（月）～28 日（日）

内　容：熊本市の各区別外国人市民の在留状況（国籍、在留資格別など）や、多文化共生に関する活動紹介、熊本市外国人総合相談プラザ相談事例の紹介などを展示

来場者数：約 300 人

③ 地域サポート事業　（お出かけ外国人市民サポート）

熊本市の各区保健子ども課や教育機関等からの依頼に応じて、言語・文化通訳を行いました。出産後の外国人市民家庭訪問による赤ちゃんの発育や母親の産後の健康状況サポートへ同行しました。教育現場では、外国ルーツの生徒へのメンタルケアや保護者に対する学校生活やイスラム児童への給食などの説明の通訳をおこないました。

相談件数：３2 件

相談内容：教育 11 件、発育・療育１件、メンタルケア２件、赤ちゃん訪問 11 件、検診・予防接種１件、妊婦訪問１件、入学における手続き関係２件
異文化理解１件、資料の翻訳１件、イスラム児童の保護者への学校給食の説明１件

対応した外国人市民の国籍：東アジア地域 14 件、南アジア地域 10 件、東南アジア地域６件、中東・アフリカ１件、北アメリカ１件

④ 医療通訳ボランティア派遣制度

メディカルサポート熊本と協力し、医療通訳ボランティア養成講座を修了したボランティアを提携医療機関へ派遣しました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により電話通訳対応も行いました。

令和３年３月末現在の提携医療機関は、国立病院機構熊本医療センター、熊本大学病院、熊本赤十字病院、福田病院、熊本中央病院、熊本機能病院、くまもと森都総合病院、桜十字病院（８医療機関）

・派遣依頼件数：72 件（派遣対応 54 件/電話対応 12 件、キャンセル６件）
・言語別件数　：英語 27 件、中国語 35 件、ベトナム語５件、スペイン語３件、インドネシア語１件、ウルドゥ語１件

医療機関別派遣件数：熊本大学病院 39 件、国立病院機構熊本医療センター32 件、熊本赤十字病院１件

医療通訳ボランティア登録人数：30 人（英語 17 名、中国語９名、韓国語４名）

※登録のない言語については、外国人総合相談プラザの多言語相談員、連携協力機関の関係者で対応しました。

● 医療通訳ボランティアスキルアップ研修
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点及び講師の都合により令３年６月に延期。

（2）日本語支援事業

外国人市民が熊本での生活に早く慣れ、より豊かな暮らしができるよう、ニーズにあった日本語教室を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない時期もありましたが、活動内容を変更したり、オンラインおしゃべり会を開催したりするなど、工夫しながら実施しました。

① くらしのにほんごくらぶ

外国人市民が熊本で生活する上で必要な日本語を習得できるよう、日本語会話や日本の生活習慣を学ぶ「くらしのにほんごくらぶ」を行いました。日本語学習をサポートする生活日本語支援ボランティア（以下、ボランティア）との対話活動を中心に実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人市民、ボランティア参加者とも減少しました。

開催時期：令和２年６月末～12 月、令和３年２～３月
開 催 日：毎週火曜 10:00～12:00
〃 水曜 10:00～12:00、14:00～16:00、18:30～20:00
〃 日曜 10:00～12:00、14:00～16:00

外国人市民参加者数：延べ 941 人
ボランティア活動者数：延べ 956 人
場　所：当館２階交流ラウンジ

交流会（対象：外国人市民とボランティア）
≪合同年末交流会≫
日　　時：令和２年 12 月 13 日（日）13:30～15:30
場　　所：当館４階第３会議室
参加者数：50 人
「くらしのにほんごくらぶ」、「地域日本語教室」との合同で開催しました。

≪お花見交流会≫
例年のような飲食を伴う交流会ではなく、各自の活動時間内で希望者が熊本城近辺の散策をする形で実施しました。
日　程：令和３年３月 23 日（火）・24 日（水）

② 初級日本語講座「はじめてのにほんご」

日本語を学んだことのない外国人市民や来日したばかりの外国人市民を対象に、日本語の基礎文型や文法を日本語教師から授業形式で学ぶ講座を実施しました。
第１回（10～11 月コース）令和２年 10 月１日（木）～11 月 27 日（金）
第２回（2～3 月コース）　令和３年２月１日（月）～3 月 29 日（月）
※上記期間中の月・木・金曜で、計 22 日実施

時　　間：9:00～11:00（２時間）
講　　師：日本語教師（大学講師、日本語学校講師など）
場　　所：当館２階ミーティングルーム
参加者数：計 10 人（第１回：７人、第２回：３人）

③ 生活日本語支援ボランティア研修会

【第１回研修】

日　　時：令和２年 10 月２日（金）15:00～16:30

テ ー マ：日本語教育を取り巻く環境変化と私たちが取り組むべきこととは

講　　師：神吉　宇一氏（武蔵野大学准教授）

場　　所：当館２階交流ラウンジ、オンライン（Zoom）

参加者数：７人

【第２回研修】

日　　時：令和３年２月 27 日（土）16:00～18:00

テ ー マ：やさしい日本語のススメ ～英語でなくても～

講　　師：岩田　一成氏（聖心女子大学　教授）

場　　所：当館６階ホール、オンライン（Zoom）

参加者数：28 人

※多文化共生セミナーへの参加（本報９ページ参照）。

④　地域日本語教室

各区に住んでいる外国人市民と同じ地域に住む日本人市民が共に支えあう関係を築くため、交流型の日本語教室を開催しました。

【北区：武蔵ヶ丘教室】

開催時期：令和２年７月、10～12 月、令和３年２～３月

開 催 日：毎週火曜 10:00～11:30

場　　所：菊陽町西部町民センター

外国人市民参加者数：延べ 64 人

ボランティア活動者数：延べ 73 人

【東区：健軍教室】

開催時期：令和２年８～12 月、令和３年２～３月

開 催 日：第２週以外の毎週火曜　10:00～11:30

場　　所：よって館ね（健軍商店街ピアクレス内）

外国人市民参加者数　：延べ 37 人

ボランティア活動者数：延べ 37 人

【東区教室】東区くらしのにほんごくらぶ

開催時期：令和２年７～８月、10～11 月、令和３年３月

開 催 日：毎月第１・第３日曜　10:00～11:30

場　　所：東部公民館

外国人市民参加者数：延べ 23 人

サポーター活動者数：延べ 17 人

【西区教室】西区くらしのにほんごくらぶ

開催時期：令和２年７月、10～12 月、令和３年２～３月

開 催 日：毎月第２・第４土曜　13:30～15:00

場　　所：田崎市場　市場会館、当館会議室

外国人市民参加者数：延べ 43 人

サポーター活動者数：延べ 41 人

【南区教室】　南区くらしのにほんごくらぶ（受託事業　本報３２ページ参照）

本年度に文化庁地域日本語教育総合的な体制づくり事業を活用し、熊本市で唯一の地域日本語教室空白地域だった南区に新たに「南区くらしのにほんごくらぶ」を開設しました。

開催日時：令和３年3月6日（土）・14 日（日）13:30～15:00

場　　所：富合公民館　研修室１・２

外国人市民参加者数：延べ９人

サポーター活動者数：延べ 20 人

【日本語交流サポーター養成講座】

≪オリエンテーション≫

日　時：令和３年１月 26 日（火）・30 日（土）13:30～14:30

場　所：当館２階交流ラウンジ

≪養成講座≫

日　時：令和３年２月 20 日（土）・27 日（土）13:30～15:30

場　所：当館２階交流ラウンジ

内　容：①多文化共生のまちづくりについて、②日本語ボランティアの心構え、③やさしい日本語について、④西区くらしのにほんごくらぶ見学

参加者数：23 人（26 日：９人、30 日：10 人、個別対応：４人）

⑤ 外国人労働者のための JLPT クラス（受託事業　本報３２ページ参照）

熊本市に事業所や支店を有する企業、団体等で働く外国人労働者を対象に、日本語能力を向上させ、職場での円滑なコミュニケーション能力の向上や、新型コロナウイルス感染症の影響で、職を失った外国人の再就職支援を目的に、JLPT日本語能力試験対策を目的にした日本語教室実施しました。

講　師：道本　ゆう子氏、中　夕紀氏、大内　星子氏

受講料：無料

場　所：当館２階ミーティングルーム

【土曜日コース】

●N4 クラス（参加者数９人）

令和３年２月６日（土）～3 月 27 日（土）全８回　9:30～11:00

●N3・N2 クラス（参加者 11 人）

令和３年２月６日（土）～3 月 27 日（土）全８回　11:10～12:40

【日曜日コース】

●N4 クラス（参加者数８人）

令和３年２月 21 日（日）～3 月 28 日（日）全６回 14:30～16:00

⑥ オンライン日本語おしゃべり会

新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での学習が困難な中、日本語学習者に日本語会話の機会を提供するため、オンライン Zoom「ブレイクアウトルーム」という少人数制で参加できるツールを活用しました。

参加者数：207 人

参 加 費：無料

（3）　「外国人のため」の防災事業

災害に備え、外国人市民を対象に災害・防災について学ぶ研修会を開催しました。

① 外国人の防災訓練

熊本市危機管理防災総室の職員を講師に迎え、多言語防災カード「あんしんノート」を基に熊本市の災害について学び、非常持ち出し袋について考えるワークショップを行いました。

日　　時：令和２年 11 月 23 日（月・祝日）10:00～12:00
場　　所：当館４階第３会議室
参加者数：22 人

② 災害時外国人支援多言語サポーター養成講座

大規模災害発生時に、外国人被災者への適切な情報提供及び地域における外国人被災者の情報収集を行い、市民と外国人市民を繋ぐことができる災害時外国人支援多言語サポーターを養成する講座の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できませんでした。

③ 災害時外国人支援システム　K-SAFE の運用

災害初期段階で外国人市民だけではなく、外国人旅行者など短期滞在者にも迅速に多言語情報の発信、外国人被災者の安否確認が効率的かつ的確に実施できる K-SAFE 災害メール配信システムの運用・管理を行いました。

登録者数：591 人
（内訳）日本語 95 人、英語 332 人、中国語 145 人、韓国語 19 人）
災害情報メール配信件数：50 件
（内訳）新型コロナ関連情報 25 件、災害情報 13 件、生活情報メール 11 件、他 1 件

④ 啓発事業（防災カードの配布）

令和元年度に作成した多言語防災カード「あんしんノート」を、熊本市内の公民館や大学の窓口にて６カ国語分をセットにして設置・配布しました。また。外国人の防災訓練でも「あんしんノート」の説明と配布を行いました。

（4）外国ルーツの子どもの支援事業

親の国際結婚に伴い、来日する子どもや後日海外から呼び寄せられる子どもを支援するため、民間の支援団体と協力し、次の事業を実施しました。

① 外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス

帰国者の呼び寄せや、親の国際結婚などで来日した外国にルーツを持つ子どもたち、及びその保護者を対象に、日本の教育システムや、高校受験の際の特別措置、配慮などについて詳しく説明をする進路ガイダンスを実施しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により内容を縮小し、熊本県教育委員会からの説明と個別相談会を開催しました。

日　　時：令和２年７月 12 日（日）13:00～16:30
場　　所：当館４階第３会議室

内　　容：【A】中国語・韓国語での説明 13:00～14:30
【B】英語、その他での説明　 15:00～16:30
参加者数：【A】46 人（中学生 10 人、保護者９人、中学校教諭 13 人、高校生３人、高校教諭１人、大学生１人、県教委２人、県人権教１名、通訳６人）
【B】46 人（中学生 10 人、保護者８人、中学校教諭 17 人、高校生３人、高校教諭１人、大学生１人、県教委２人、県人権教１名通訳３人）
関 係 者：23 人（一般１人、支援ネット 12 人、スタッフ 10 人）
参 加 費：無料

② 外国籍児童のための教育サポート

義務教育期間における日本語指導が必要な外国籍児童生徒に対し、高校生、大学生、及び支援者が集まり、日本語、教科学習指導や生活相談を行う「おるがったステーション」を開催しました。

≪おるがったステーション≫
日　　時：毎週日曜 10:00～12:00（中学生対象）、14:00～16:00（小学生対象）
場　　所：当館５階和室、他
参加者数：延べ 258 人（中国、韓国、フィリピン、スリランカ等）

③ 「熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会」事業

「熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会」の構成団体として、外国ルーツの子どもたちを支援するため、日本語指導に携わっている方々を対象に特別講座を開催しました。
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン講座としました。
日　　時：令和３年２月 27 日（土）13:00～16:00
場　　所：当館４階第３会議室
参加者数：55 人（関係者７人含む）

④ 連携事業

熊本市立黒髪小学校日本語センター校開校式、及び閉校式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止されました。
＊黒髪小学校におけるムスリム児童・生徒家庭に対する給食の提供について説明会
開催日時：令和３年３月 23 日（火）15:00～16:30